

「平成 29 年 12 月 1 日に思う」

川上村に、ひと足早く「お年玉」が届きました。

昭和 22 年に制定された地方自治法が今年で施行 70 周年を迎えるにあたり、「人口が減少したものの確実に発展があったこと」や「これからの村づくりの指針が明確である」等の理由により、このほど本村が「地方自治功労者」として表彰されました。団体表彰として選ばれたのは、県内で王寺町と広陵町を加えた三町村です。この栄誉を村民の皆さんと共におよろこびしたいと思います。

式典は先月 20 日に東京国際フォーラムにて、天皇皇后両陛下御臨席のもとで開催されました。野田総務大臣の式辞のあと、団体・個人表彰を受け、安倍内閣総理大臣らから御祝辞を頂戴しました。式典後の記念シンポジウムでは、人口減少により、地方自治体は財源や人材といった資源が限られている一方で、その役割の重要性が増してきており、行政サービスの維持をはじめとした様々な課題が問われていることなどが議論されました。

この 70 年間で市町村の数が激減するなど、自治体を取りまく状況が大きく変わりました。課題は山積みであることは承知しています。それでも、地域住民にとって最も身近な行政として、市町村の役割がますます重要視されていることも事実です。これを機に再び襟を正し、引きつづき水源地の村づくりに前向きかつ真摯に取り組んでいきます。